

Saitama Line 報告号

平成 28 年 1 月 31 日(日)に第 2 回目を迎えた ALL Saitama 改め Saitama Line。

ALL Saitama という名称が、他団体と重なることが判明し、改めることとなりました。この名称には、県内でそれぞれ頑張っている若手保育士を「点」に例え、その仲間たちと

『Saitama Line』を通じて「線」のようにつながっていきたいという思いが込められています。頑張っている仲間が届いてほしい！そのような思いで、この報告号をあなたに送ります。

さて、第 2 回に講師を勤めてくださったのはこの方！

自治労連保育部会部会長 **高橋光幸先生** です。

テーマは『実践から学ぶ～保育を楽しめる人・楽しめない人～』



約 20 個もの実践から、子どもとどのように関わっているか、一人ひとりを感じ、子どもが安心できる生活を築く大切さを語る高橋先生。

「分かり合える仲間がいて、甘えられてふざけられて困ったときには助けてもらえる担任がいて、目の前にはおもしろいことがあふれていて、挑戦するもしないも自分で決められて、緊張せずに気楽に過ごせる空気が漂っていて、失敗したって大丈夫と思える雰囲気にも包まれている。それを作ることが保育という仕事だし、なぜそれをつくるかといえば、子どもも大人も保育を楽しむためなのです。」(高橋先生の言葉より)



全ての実践は、ここにつながっています。時には子どもに叱られたり、大人も失敗しながら、笑いあって成長していける保育。同じ園や、同じ自治体の保育にしか触れる機会のない若手参加者にとっては、改めて自分の保育を見つめ直して、「保育ってこんなに自由だったのか！」と気づき、目を輝かせて聴き入る姿がとても印象的でした。

グループトークでは、4～5人に分かれて「保育で楽しかった瞬間」をテーマに語り合いました。

参加者の声を紹介します！



「自分の保育だけが当たり前じゃないと気付けた」
「ちょっとした悩みも、同じ年代だからこそ気軽に話せる雰囲気が良かった」
「一人じゃできないことも、みんなとなら頑張れそう」
「話をすることでつながりが増えて嬉しかった」…etc.



◎当日参加人数：53 名(11 自治体 3 大学 より)
◎リピーター：約 30%

1～10年目の職員が参加しています。
今回新たに実行委員が4名(深谷市&さいたま市)加わりました！＼(^o^)/